

## 第8回 NR・サプリメントアドバイザー認定試験の結果 — 薬学部4名が成績優秀者として表彰 —

2020年12月6日(日)、第8回 NR・サプリメントアドバイザー認定試験が行われました。全国の合格率は63%でしたが、本学薬学部生の合格率は全国の合格率を大きく上回る87.5%で、さらに成績優秀者として4名が選ばれました。

NR・サプリメントアドバイザーとは、消費者に対して「保健機能食品（トクホなど）」や「サプリメント」について、専門的観点から個人の栄養状態を評価し、適切にアドバイスできる人材の育成を目的として設けられた資格です。このような知識は病院や薬局で働く薬剤師にとって重要です。本学はこの資格試験を在学中に受けられるよう大学として学校会員になっています。2014

年以来、薬学部は資格の取得を希望する学生をサポートする講義を行っています。これまでも全国平均より高い合格率で合格者を輩出し、多くの成績優秀者が表彰されてきました。

第8回 NR・サプリメントアドバイザー認定試験の成績優秀者として薬学部5年生の久保慶子さん、玉口翔太さん、手束佳子さん、山根大輝さんが選ばれました。

おめでとうございます。今後の活躍を期待しています。



## 林野庁長官より「国民の森林づくり推進功労者」感謝状を受けて

短期大学部生活科学科食物専攻

短期大学部生活科学科食物専攻では、野生シカ肉の有効活用としてシカ肉レシピの開発に取り組んでいます。2016年からは野生鳥獣を取り巻く環境を知るために森林保護活動のボランティア団体と協力し、那賀郡那賀町木沢の国有林内において、シカの食害防護ネット張り活動の実施や、木沢シカ肉等加工施設を訪問しシカの解体実習も実施してきました。また学生が考案したレシピは学生食堂で定期的に提供しています。2019年度は考案メニューの1つである「シカ肉シチュー」が徳島県主催「阿波地美栄（ジビエ）料理レシピグランプリ」において「優秀賞」を受賞しました。さらにこれまでのレシピをまとめた『シカ肉レシピ集』も発刊し、シカ肉の美味しさを伝えるための普及活動にも取り組んでいます。

この度、これらの取り組みが評価され、森林環境保護に顕著な功績があったとして、林野庁長官から感謝状をいただきました。

今後も皆さまのお力添えをいただきながらより一層活動に邁進していきたく思います。



シカの食害防護ネット張り活動



表彰を受ける長尾久美子准教授（中央）と人間生活学科3年 比嘉梢乃さん（左・食物専攻から編入）

## 点眼薬を用いた臨床研究で香川薬学部6年生が活躍

高本彩音さん（医療薬学講座）は卒業研究でボランティア100名の点眼を撮影し解析しました。点眼薬が1回で眼の中に入る成功率は約70%、約40%の人は自己流で点眼していること等を見出した上で、点眼薬が落下した場所から点眼後の眼の拭き方を新たに提案しました（2021年1月14日(休)付産経新聞夕刊2面に既報）。

高本さんは2019年度日本薬学会中国四国支部学生発表奨励賞を受賞、卒業論文は日本薬学会の論文誌『YAKUGAKU ZASSHI』（2020年140巻12号 p.1455-1462）に掲載されました。



香川薬学部薬学科 池田博昭教授（左）と表彰を受けた高本彩音さん（右）

## 第9回 英語暗誦コンテストを開催

2020年11月14日(土)、香川キャンパスにて「第9回 英語暗誦コンテスト」が開催されました。

著名人による英語スピーチを理解・暗記したうえで、自分らしく表現することを競うこのコンテストでは、予選審査を経た出場者（高校生部門10名・大学生部門9名）が熱演しました。休憩時には英語英米文化学科の学生による海外研修の体験発表があり、本学の英語教育および国際交流の取り組みを広く学外に知ってもらえるよい機会となりました。

